

第五十六回帝國議會
衆議院

船舶職員法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
船舶職員法中改正法律案(政府提出)
無線電信法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和四年三月十三日(水曜日)午前十時
四十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 佐々木平次郎君

理事 青山 憲三君

理事 小山倉之助君

枅谷 音三君 赤尾藤吉郎君

齋藤 巖君 土屋清三郎君

檀野 禮助君

同日委員齋藤巖君及福田五郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ木村清治君及小山倉之助君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日理事福田五郎君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ小山倉之助君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

逕信大臣 久原房之助君

出席政府委員左ノ如シ

逕信政務次官 廣岡宇一郎君

逕信省電務局長 畠山 敏行君

逕信省管船局長 宮崎 清則君

海軍中將 左近司政三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船舶職員法中改正法律案(政府提出)
無線電信法中改正法律案(政府提出)

○佐々木委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮ヲ致シマスガ福田五郎君ハ委員ヲ御辭退ナサレマシタ、隨テ理事ノ

選舉ヲ行フコトニナリマスガ、如何致シマセウカ

○青山委員 例ニ依テ委員長ノ御指名ニ依ラレンコトヲ望ミマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○佐々木委員長 御異議ガナケレバ、小山倉之助君ヲ理事ニ御指名申上ゲマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○佐々木委員長 前回ニ引續キマシテ船舶職員法中改正法律案ニ付テノ質疑ヲ、續行致シタイト思ヒマス

○宮崎政府委員 前回ニ破産者ノ缺格問題ニ付キマシテ、御議論ガアリマシタ、私モ一應考ヘテ居ルコトヲ述ベマシタノデアリマスガ、其當時私ガマダ申上ゲナカッタヤウニ思フ點ガアリマスカラシテ、御參考マデニ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ破産者ハ現在ノ破産法ニ依リマス「裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ル、コトヲ得ス」ト云フ規定ガゴザイマス、是ハ既ニ御承知ノコト、思ヒマススケレドモ兎ニ角破産者ハ自分ノ居住ニ付テハ自由ヲ得テ居ラヌ、居住地ヲ離ル、ニハ裁判所ノ許可ヲ得ナケレバナラヌト云フ制限ヲ受ケテ居ルノデアリマス、ソレカラ其外ニ「裁判所ハ必要ト認ムルトキハ破産者ノ引致ヲ命ス

ルコトヲ得」引ツ張ツテ行クコトヲ得ル、ソレハ破産法ノ百四十八條デアリマス、ソレカラ百四十九條ニハ「破産者カ逃走シ又ハ財産ヲ隱匿若ハ毀棄スル虞アルトキハ裁判所ハ其ノ監守ヲ命スルコトヲ得」監守付ニスルト云フコトニナツテ居ル、尙其外ニ百五十條ニハ「監守ヲ命セラレタル破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス」交通面談等ハ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス、兎ニ角破産者ハ現在ノ破産法ニ於テハ色々ノ制限ヲ受ケテ居ルノデアリマス、居住ノ自由ヲ制限サレ、交通通信或ハ面接ノ自由モ時ニ依テハ制限サレルコトニナツテ居リマス、是ガ船舶職員ト云フコトニナリマス、船舶職員ハ御承知ノ如ク最も移動ノ多イ、殆ド一定ノ場所ニ居ラナイ位ニ海洋ヲ航海致スノデアリマス、斯ウ云フ職業ニ就ク、斯ウ云フ仕事ヲヤラセルト云フコトハ、此破産法ノ精神ト低觸スルヤウナ虞ガアルヤウニ思フノデアリマス、現在ノ此破産法ノ規定、精神カラ見マシテモ、船舶職員トスルト云フコトハ適當デナイデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○土屋委員 私ハ破産法ノ審議デハナカッタ爲ニ、私ノ質問ハ破産者ノ身分上ノ資格問題デ質疑ヲシタノデアリマスガ、只今政府委員カラ念入りニ破産法ニ付テ御説明ニナリマシタガ、其點ニ付テ私カラ重ネテ質問シテ行ッテ宜シウゴザイマス、私ハ非常ニ貴方ノ御不利益デハナイカト思ヒマスガ、御確信ガアリマス、若シソレデ宜イト云フコトデアレバ、私ハ破産法ニ付テドンドン質問シテ行カウト思ヒマス、宜シウゴザイマス、私ノ先日御尋シタノハ破産者ニ對スル身分上ノ資格ヲ奪ツテ居ルト云フコトハ、破産法其モノニ於テ既ニ之ヲ認メテ居ナイノデアリマス、日本ノ今御引用ニナッタ所ノ破産法ノ根本ガ既ニ之ヲ認メナイノデアリマス、舊商法破産篇ニ於テ認メテ居ッタコトハ、新破産法ニ於テ之ヲ認メナイ、舊商法ノ破産篇ハ破産者ニ對シテ懲戒主義ヲ以テ臨ンデ居ッタノデアアル、然ルニ新破産法ハ全然此懲戒主義ヲ捨テ、非懲戒主義ヲ採ッテ居ル、破産手續ト云フモノハ破産者ノ全財産ニ對シテ、債權者全部ノ利益ノ爲ニ、平等ニ公平ニ之ヲ分配スルト云フ手續、即チ債務者ノ總テノ財産ニ對スル所ノ債權者全部ノ強制執行ニ外ナラヌ、此精神ヲ以テ今ノ破産法ト云フモノハ作ラレテ居ルノデアリマス、デ只今政府委員ノ御引用ニナッタコトハ、破産法ノ中ノ或ル一

二ノ箇條デアリマス、新破産法ノ根本精神ガ何處ニアッタカト云フコトヲ若シ進ンデ御研究ニナツタナラバ、其中ニアル所ノ一二ノ箇條ヲ御引用ニナルヤウナコトハ、私ハ出来マイト思ヒマス、政府委員ハ現行ノ我が破産法ガ、如何ナル精神ニ依テ作ラレタカト云フコトヲ御承知デアリマス、若シ御承知デアラナラバ、其點カラ先ヅ御説明ヲ願ヒタイト思フデアリマス、其處マデ行クト少シ貴方ノ方ガ御不利益デハナイカト私ハ思ヒマス、併シソレニ就テ十分ナル御説明ガ出来ルト云フ御確信ガアルナラバ私ハ是カラ破産法ニ就テドン／＼ト質問ヲ致シマスガ、如何デアリマスカ

〔速記中止、懇談〕

○青山委員 私、議事進行ニ付テ御相談ヲ申上ゲタイノデアリマスガ、隨分此案ニ付テハ三日間ニ亙ッテ質疑應答モ重ネラレテ居リマスガ、唯殘ッテ居ルノハ、所謂土屋君ノ破産ニ關係シタ質問ガ殘ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ土屋サンノ破産ニ關スル御質問ハ、殆ド全法制ニ亙ッテ御質問デ、此船舶職員法ノ一角ニ據ッテ全部ヲ解決スルト云フコトハ、中々困難ダラウト思ヒマスカラ、之ヲ先程御話ノアッタ通りニ精々土屋サンニ御手柔カニ、小サイ意味ニ此問題ヲ局限シテ戴イテ、成ベク此問題ノ討論ヲ進メラレタイト感ズルノデアリマス

○土屋委員 只今青山サンノ非常ニ御深切ナル御意見デゴザイマスガ、此問題ハ是カラ大ニ海ニ向ッテ伸ビナケレバナラヌ日本ノ立場、又日本民族ノ立場トシテ、非常ニ大事ナコトデアリマス、ソレデ一昨日政府委員ニ色々質問ヲ致シマシタガ、ドウシテモ此條項ヲ今回モ存シテ置クト云フコトニ付テハ、昨出来タ案ヲ支持スルト云フコトニ勉メラレルダケデ、十分ナル御説明ガ出来ナイ、私思フニ是ハ單ニ事務的ノ問題デナクシテ、政策ニ關スル大事ナ問題デアルト考ヘマシタノデ、委員長ニ遞信大臣ノ御出席ヲ求メテ御承認ヲ得テ居ルヤウナ次第デアリマス、尙此問題ハ同時ニ海軍ノ方ニモ關係ガアリマスカラ、海軍大臣ニモ御出席ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ意味デ請求ヲ致シマシテ、御承認ヲ得テ居ル、サウシテ今日此處ニ開カレテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、ドウカ此機會ニ遞信大臣ト海軍大臣ニ一ツ御出席ヲ願ヒタイ、併シ兩大臣ガ非常ニ——兩大臣ノ中デ或ハ貴族院邊リデ今手が離サレナイト云フ場合デアリマスレバ、遞信大臣ニハ是非出テ戴キタイ、若シ遞信大臣ガドウシテモ差支ガアルト云フナラバ海軍大臣、二人ノ大臣ノ中デ是非一人ダケハ來テ戴キタイノデアリマス、是全ク相關聯シタル問題デアリマスカラ、此席ニ於テ私ハ此問題ニ對シテ確メテ置キタイト思ヒマス、委員長ニ於テ然

ルベク御取計ヲ願ヒタイノデアリマス
○佐々木委員長 土屋君ニ一寸申上ゲマスルガ、一昨日今御話ナサレタヤウナコトデアリマシタ、海軍大臣ニ御交渉ヲ申上ゲマシタ所、ドウシテモ今御手ヲ放スコトハ出来ナイ、ソレデ軍務局長ガ御出デ、アリマスカラ、若シ御質疑ガアルナラバ、此際御述べ下サルヤウニ希望致シマス、遞信大臣ノ方ハ言ウテ置キマシタケレドモ、マダ返事ガアリマセヌ、今又一ツ聽イテ見マセウ
○土屋委員 ソレデハ遞信大臣ノ見エル迄、海軍ノ方ニ一寸私ハ伺ッテ置キタイト思ヒマス、改正案ノ第五條ノ第二項デス、海軍艦船艇ニ乗組ミ運航若ハ機關運轉ニ從事シ又ハ商船學校全科卒業證書ヲ有シ遞信大臣ニ於テ試験規程ニ合格スト認ムル者ニハ試験ヲ用キスシテ相當ノ免狀ヲ授與スルコトヲ得」此第二項ノ「海軍艦船艇ニ乗組ミ」云々ト云フ此從事シタ者ト云フノハ如何ナル者デアリマスカ
○左近司政府委員 是ハ海軍兵學校ノ規程ノ功程ヲ經マシテ、サウシテ累次少尉中尉ト累進致ス譯デアリマス、而シテ何噸以上ノ船ニ勤務シテ何年間其職ニ携ッタ者ハ、此職員トシテノ資格ヲ得ルト云フヤウナ標準ガアリマシテ、詰リ海軍ニ於テ既ニ船舶職員トシテノ技術經驗ヲ有シテ居ル者ガ、此條

項ヲ適用サレルコトニ承知致シテ居リマス、尙一言補足致シマスガ、其標準ト申シマスノハ大尉ニ於キマシテハ海上勤務期間ガ中尉以上ニ於テ一年、中尉時代ニ於テ二年、斯様ナ經驗閱歴ヲ持ッテ居ル者ガ甲種船長トシテ海員免狀ヲ授與セラレル、ソレカラ少尉ニ於キマシテハ、少尉二年、中尉ニ於キマシテハ少尉以上一年ノ經驗閱歴ヲ有ッテ居ル者ニ對シテ甲種一等運轉士ノ海技免狀ヲ與ヘル、候補生二年勤務閱歴ノ經驗ヲ持ッテ居ル者ニ對シテ、甲種海技免狀二等運轉士ヲ與ヘル、斯様ナ徑路デゴザイマス
○土屋委員 此海軍兵學校或ハ機關學校ニ入學スル者ニ對シテ、破産者ニ對シテハ受験ノ資格ナキモノト認メテ居リマス、或ハ差支ナクナッテ居リマス
○左近司政府委員 申スマデモナク兵學校機關學校ノ生徒ハ、將來ソレ／＼將校トシテノ立場ニ立ツ者デゴザイマス、多數ノ部下ヲ率イテ軍紀の立場ニ立ツ大事ナ職分デアアルノデアリマス、其採用試験ト致シマシテハ人格、健康ハ申スマデモナク、尙又家庭的ニモ社會的ニモ成ベク立派ナ人間ヲ採用シタイト云フ趣意ニ基キマシテ、仰セノ兵學校機關學校ノ生徒ハ、破産者ニシテ復權セザル者ハ志願シ得ナイコトニ規定サレテ居リマス
○土屋委員 ソレハ入學試験規定ノ中

ニハッキリ示サレテ居リマス

○左近司政府委員 示サレテゴザイマス

○土屋委員 ソレカラ兵學校或ハ機關學校ニ入ラズシテ、下士カラ將校ニナル場合ゴザイマス、ソレハドウナリマス、ソレニ對シテ矢張破産者ヲ除外シテ居リマス規定ガアリマス

○左近司政府委員 海軍兵學校、機關學校ノ教程ヲ經ズニ、卒カラ累進ヲ致ス士官ト云フ者モアルノデアリマス、而シテ其採用ノ資格ト致シマシテ、徴兵ニ致シマシテモ志願兵ニ致シマシテモ破産者ノ失格ト云フ規定ハゴザイマス、デ志願兵ニ付キマシテハ……

○土屋委員 私ノ伺ッテ居ルノハ將校ニナル人デス、將校ニ任官スル場合デス

○左近司政府委員 ソレハゴザイマセヌ——ソレカラ兵學校或ハ機關學校ニ卒業致シマシテ將校ニシマシテモ、破産者ニ對シテ免官トカ何トカ云フ正面ノ規定ハナイノデアリマス

○土屋委員 モウ一ツ此機會ニ伺ッテ置キマス、海軍ハ卒ヲ志願兵カラバカリ探ルノデハナクテ、徴兵カラモ矢張探レル譯ニナッテ居ルノデアリマセウカ

○左近司政府委員 左様デゴザイマス

○土屋委員 徴兵ノ場合ニ破産者ハ探リマス、探リマセヌデセウカ

○左近司政府委員 何等サウ云フ制限

ガゴザイマセヌ、志願兵ニ於テモ然リ

○土屋委員 志願兵ニ於テハ破産者ヲ探ラナイヤウニ私ハ承知シテ居リマス

ガ、海軍志願兵條例ニ依リマス、破産者モ志願兵ニ關係ハアリマセヌカ

○左近司政府委員 海軍志願兵條例ヲ一昨年改正ニナリマス、以前ハ、土屋サシノ仰ツシヤル通り失格者デアッタノデアリマス、ソレガ一昨年ノ十二月改正ニナリマシテ、其條項ガ削除致サレマシタ

○土屋委員 海軍志願兵條例ノ中カラ破産者ヲ除イタ理由ハ、一體ドウ云フ理由デゴザイマセウカ

○左近司政府委員 ソレハ將校ノ立場ニ立ツ者ニ對スル觀念ハ、先程申上ゲタ通りデアリマスガ、卒ニ關スル限り、徴兵トノ權衡ヲ計リマシテ、必シモ將來ノ立場上ソレダケヲ制限ヲ設ケル必要ガナイト考ヘタ結果ダラウト思ヒマス

○土屋委員 將校ニ對シテドウシテ破産者ガイケナイノデアリマセウカ、破産者ヲ何故ニ海軍將校タラントスル受驗資格カラ省イタノデアリマセウカ、如何ナル根據カラサウ云フ資格ヲ規定シタノデアリマス

○左近司政府委員 是ハ先程海軍兵學校、海軍機關學校生徒採用資格者トシテ、左様ナ者ガ除外サレテ居ルト云フ點ニ付テ申上ゲタ通りデアリマス、繰返ヘシテ申セバ兎ニ角人ノ風上ニ立ッ

テ人ヲ指揮スル軍紀の立場ニ立ツモノデアリマスカラ、成ベク瑕ノナイ満足ナ人ヲ得タイ、斯ウ云フ見方デアリマス

○土屋委員 破産者ヲドウシテ取者ト御認メニナルノデアリマセウカ

○左近司政府委員 私ハ法律上ノ立場トカ云フコトニノミ膠著シテ申上ゲルノデナク、即チ家庭のニモ或ハ社會的ニモ、成ベク満足ナ人、斯ウ云フ考デアリマス

○土屋委員 破産者ガドウシテ家庭的ニモ社會的ニモ不満足デアリマセウカ、取者デアルカ、是ハ法律的デハナイ、實際ニドウシテ破産者ト云フモノガ取者デアルカ、皇國ノ軍人タルコトガ出來ナイノデアリマセウカ、其根據ヲ承リタイ、法律問題デナク實際問題デアリマス

○左近司政府委員 是ハ殆ド常識問題デアラウカトモ考ヘルノデアリマスガ、破産者ソレ自身ニハ相當土屋サンノ仰セニナルヤウニ同情スベキ立場ニ在ル者モ澤山アルコトダラウト思ヒマスケレドモ、破産者ト云フ立場ニ至ラナイマデノ過程ニ於キマシテモ、色々職業的ノ社會的立場トカ、或ハ其資産關係、貧乏人ヲ排斥スル譯デハ毛頭アリマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ將來將校ノ立場ニ立ッテ人ノ風上ニ立ツ者ニ、何トナク引ケ目ノアル境遇ニ在ル人ハ、必シモ破産宣告者デナクテモ、

多數ノ優秀ナ者ノ中カラハ自ラ除外サレルト云フコトハ、是ハ常識上已ムヲ得ヌ妥當ナコトデハナカラウカト思フノデアリマス

○土屋委員 逆ニ私ハ御尋致シマス、將校ニナル所ノ試験ヲ受ケル資格ニハ破産者ハ取者デアルカライカヌ、併シ兵學校、或ハ機關學校ノ入學試験ヲ經ズシテ、卒カラ行ッテ將校ニ採用サレル者ニ對シテハ何ノ規定ガナイ、今日兵學校或ハ機關學校ニ入リマス者ハ、小學校カラ中學校ノ課程ヲ經テ、サウシテ入學試験ヲ受ケルノデアリマス、是ハ先ヅ中産以上ノ人デアルト私ハ思フ、海軍ノ一水兵トシテ徵募ニ應ジテ長イ間水兵ヲ勤メテ、努力ヲシテ將校ニナル所ノ者ハ寧ロ中産以下ノ人デアリマス、サウシテ其中ニハ當然破産者モアラウト思フ、アリ得ルノデス、而モ其人達ハ徴兵カラ行キマシテモ、志願兵カラ行キマシテモ、何等破産者タルノ故ヲ以テ其資格ヲ奪ハレテ居リマセヌカラ、當然海軍ノ軍人トナッテ、卒カラ段々上ッテ行ッテ、サウシテ將校ニナル、其人ニ對シテハ何等破産者デアルカラト云フノ資格ヲ奪ハナイト云フコトニナル、私ノ考デハ試験ヲ受ケル者ニハ恐ラク破産者ト云フモノハ極ク少ク、試験ヲ受ケズシテ水兵カラ上ッテ行く者ニ寧ロ破産者ガアリハシナイカト思フ、何故ナレバ破産スルト云フノハ貧乏デアルカラデアル、財産ガ無クナ

ルカラデアル、然ルニサウ云フ方面ニハ何等必要ガナイト言ッテ門戸ヲ開放シテ置イテサウデナクシテ恐ラク破産者ハ少カラウト云フ風ナ兵學校ナリ、機關學校ナリカラ這入ッテ行ク者ニ對シテ、破産者デアアルカラト言ッテ門戸ヲ鎖シテ置クト云フコトハ、矛盾シテ居ルノデハナイカ、同ジク海軍ノ將校デアル以上、下士卒カラ行ッタ者デモ、兵學校或ハ機關學校ヲ卒業シテ行ッタ者デモ、若シサウ云フ破産者ト云フ取者ガイケナイナラバ、此方面ニモ此規定ヲ設ケナケレバナラスト思フガ、其方面ニハ其規定ガナクシテ、ソレヲ任用スルコトガ出來ルヤウニシテ置クノハ矛盾デハナイデセウカ

○左近司政府委員 下士卒カラ將校ニナルベキ途ノ開ケテ居ルト云フコトハ、申スマデモナイコトデアリマスガ、其制限無シト申スコトハ將校ニナッテカラノ話デアリマス、將校ニナッテ家資分散ラ受ケタ時ニハ失格スルト云フヤウナ正面ノ規定ハゴザイマセヌガ、任用ニ當リマシテハ矢張海軍武官任用令ノ第三條ニ於テ、復權ヲ得ザル家資分散者若ハ破産者ト云フモノハ任用サレル資格カラ除外サレテ居リマス、ソレハドウ云フ者ヲ申シマスカト云フト、サウ云フ者ハ入學スル時ニ失格サレテアリマス、今度ハ生徒ハ又此海軍武官任用令ト云フモノニ依テ、ソレガ候補生ニナッテ愈少尉ニ任官サレルト云フ其時

ニ、其處ニ再ビ關所ガアル、ソレカラ志願兵ニ至リマシテハ這入リマス時ニハ何モ制限ハゴザイマセヌガ、段々累進シマシテ愈ソレガ少尉ト云フヤウナ官ニ任官サレマス時ニハ、此失格條項ガ適用サレル譯デアリマスカラ、任官サレマス時ニハ矢張此任用令ノ支拂ヲ受ケルノデアリマス、ソレハ私ノ申シマシタノハソレガ無難ニ士官ニナリマス、何等失格ノコトナシニ士官ニナリマスガ、其士官ガ破産宣告ヲ受ケタ場合ニ失格スルト云フヤウナ規定ガ無いデアリマス、ケレドモソレナラバ海軍士官ハ破産ノ宣告ヲ受ケタニシテモ、ドンナ事情ノ下ニモ立派ニ將校トシテドン／＼進ミ得ルカト申セバ、是ハ直接其處ニ制度ハゴザイマセヌガ、是ハ間接ニ或ハ海軍將校分限令デアルトカ、或ハ官吏服務規律デアルトカ云フモノニ依テ、其内容如何ニ依テハ、矢張採用當時ニ於テ失格者トシテ扱ッタ精神ハ、其處ニ人事行政上考慮サレルコトデアラウト考ヘマス

○土屋委員 一身ヲ國防ノ爲ニ委ネテ居ル所ノ海軍ノ軍人將校ニ對シマシテ、分限令ノ規定ニ依ラズ、服務規律ノ規定ニ依ラズ、何等ノ規定ナクシテドウシテ其地位ヲ奪フコトガ出來ルモノデアリマセウカ

○左近司政府委員 是ハ官吏服務規律、或ハ海軍將校分限令、ソレニ依テ失官スルノデアリマス

○土屋委員 其規定ノドレニ依テ、ソレガ出來ルノデアリマスカ

○左近司政府委員 家資分散或ハ復權ヲ得ザル破産者ト云フ正面ノ規定ハゴザイマセヌケレドモ、内容ニ依リケリデアリマスガ、サウ云フコトガ原因ニナツテ、或ハ武官タルノ本分ヲ盡スコトガ出來ナイ立場ニ至ッタト云フ、ソレハサウ云フ例ガアリマス、是ハ例ニ當ラナイカモ知レマセヌガ、極ク古イ話デアリマスガ、某豫備中尉ガ非常ナ失策ノ結果、破産ノ境遇ニ陥リマシテ、深川カ何處カデ勞働ニ從事シテ見ル影モナイ窮境ニ陥ッタヤウナコトガアリマシ、ソレハ今ノ破産ソレ自身ガ理由デハナイノデアリマスガ、其結果トシテ豫備將校トシテノ立場、名譽地位ヲ維持スルコトノ出來ナイヤウナ窮境ニ陥ッタ結果、此將校分限令ニ依テ處斷サレタ一例ガアリマス、サウ云フヤウナ運用ニ依テ行ケルベキモノデアラウト思ヒマス

○土屋委員 今例ヲ御引キニナリマシタガ、アノ人ハ法律上ノ破産者デハナイ、ソレハ御話ノ通り失策デアッテ、負債ヲ澤山拵ヘタト云フヤウナコトデ、法律上ノ破産者デハナイ、サウ云フ將校タルノ體面ヲ汚スヤウナコトヲ致シマシタ場合ニハ、ソレハ服務規律ナリ分限令ナリノ規定ニ依テ、其地位ヲ奪フコトガ出來ルデアリマセウガ、サウデナイ所ノ法律上ノ破産者ニ對シテ、

分限令若クハ服務規律ニ何等ノ規定ナクシテ、ドウシテ其地位ヲ奪フコトガ出來ルノデアリマセウカ、若シサウ云フコトヲスルナラバ、實ニ陛下ノ軍人ノ地位ト云フモノハ甚ダ危險ナルモノト云ハナケレバナラヌ、私ハ例ヲ御尋シテ居ルノデハナクシテ、分限令ナリ服務規律ナリ、法令ノ規定ニ依ラズシテ、ドウシテ將校ノ地位ヲ奪フコトガ出來ルノデアアルカ、之ヲ御尋スルノデアリマス

○左近司政府委員 其規定ニ依ラズシテ罰シタトモ申シマセヌシ、又仰セノ通りデアリマス、詰リ今ノ御話ノハ破産者ノ問題デアリマスガ、破産ソレ自體ヲ原因理由トシテ失格スル規定ハナイノデアリマスカラ、ソレデ如何ニシテソレヲ奪フコトガ出來ルカト云フト、奪フコトハ出來ナイノデアリマス、唯其結果官吏服務規律ナリ或ハ將校分限令ナリニ適合スル事態ニ於テ、初メテソレガ出現スル譯デアリマス

○土屋委員 詰リ御答辯ハ斯ウ云フ譯デスナ破産其モノデハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマスナ

○左近司政府委員 サウデス

○土屋委員 然ラバ入學試験ニ破産者ヲ失格者トシテ設ケテ置クト云フコトハ、何等意味ヲ成サナイコトニナル、先刻ノ御説明ニ依レバ將校トシテ士卒ヲ指揮スルニハ、相當ノ體面ヲ保ツ者デナケレバナラヌ、破産者ノヤウナモ

ノハ、謂ハ、瑕者デアアルカイカスト
云フ、斯ウ云フ御説明デアッタ、ソレデ
アルカラ入學試験ニ破産者ヲ採ラスト
斯ウ云フ、御説明デアッタノデアリマ
ス、所ガ一方任官シテ海軍ノ將校ニナ
ル、實際ニ士卒ヲ指揮シテ居ル地位ニ
立ッテ其人ガ破産シテモ、何等其地位ヲ
奪フコトガ出来ナイト云フナラバ入學
試験ニ破産者入ルベカラズト云フ規定
ヲ設ケタコトハ、結局空文徒法デアリ
マシテ、全然目的ヲ達シナイ、斯ウ考ヘ
ルノデアリマスガ、如何デスカ

○左近司政府委員 是ハ採用スル場合
ト任官サレテカラノ立場トハ、大ニ趣
ガ違フダラウト思ヒマス、採用ノ場合
ニハ多數ノ者ノ中カラ選リニ選ッテ、成
ルベク満足ナ立場ノ者、將來發展ノ見込
ノアル者、斯ウ云フ狭イ範圍ニ局限シ
テ採ラウト云フ趣意デアル、ソレカラ
愈將校ニナリマシテカラ破産ト云フヤ
ウナ境遇ニ、マア假ニ陥ッタリトスル不
幸ナ人ガアッタナラバ、是ハ又其内容如
何ニ依テ、必ズシモ將校トシテノ體面
ヲ保チ得ナイモノトモ限リマセヌ、又
多クノ場合ニ於テハサウ云フコトガ果
ヲ爲シテ、連モ其地位ニ威信ヲ保ツコ
トガ出来ナイ人モアリマセウシ、其處
ハ其事情ニ應ジテ處理スベキデアッテ、
其處ハマア今日ノ制度ノ方ガ吾々ハ常
識的ニ考ヘマシテ、然ルベキ事柄デア
ルノデハナカラウカト思ヒマス
○土屋委員 只今ノ御答辯ノ中ニ、海

軍ノ將校ヲ成ルベク狭イ範圍カラ良イ
者ヲ御採リニナラウト云フ、斯ウ云フ
御言葉デゴザイマスガ、私ハ斯ウ考ヘ
テ居リマス、今日吾々國民トシテ軍人
程尊イ者ハナイ、一切ヲ犠牲ニシテ、國
防ノ第一線ニ立タレル人デアアル、斯ウ
云フ人ニハ最モ智勇ノ優レタル人ヲ選
ビタイ、其爲ニハ破産者デアラウガ、何
デアラウガ、中學卒業者デアラウガ、ナ
カラウガ、寧ロ廣イ範圍カラドン、英
才ヲ拔擢シタイト云フ考ヲ持ッテ居ル、
併シ是ハ今ノ問題ニ關係ガアリマセヌ
カラ、此點ハ私ハ質問ハ致シマセヌ、唯今
迄ノ御話ニ依リマスルト、入學試験ヲ受
クル者ニハ破産者ヲ除ク必要ガアル、
ソレカラ任官後ニ於テハ破産者ナドデ
モ致シ方ガナイ、斯ウ云フ結論ニナラ
ウト思フノデスカ、左様ニナリマスガ

○左近司政府委員 マアサウデス
○土屋委員 分リマシタ、ソレガ一ツ
ソレカラ今一ツハ是ハ反駁ヲスル
ノデハアリマセヌガ、モウ一ツ念ヲ押
シテ置キタイト思ヒマスルノハ、常識
カラ考ヘテ、ドウモ破産者ト云フモノ
ハ取者デアアル云々ト云フ御話ガアリマ
シタガ、此點ヲモウ一ツ確メテ置キタ
イ、破産者ト云フモノハ、貴方ナドハソ
シナ御經驗ハ少シモオアリニナラナイ
カラデアリマスルガ、破産者ト云フモ
ノハ自分ノ不都合ノ爲ニバカリ破産ス
ルノデハナイ、御承知ノ通り彼大正
十二年ノ大震災火災ヲ御覽ニナレバ分

ル、例ヘバ此處ニ自分ガ家屋ヲ幾ラカ
持ッテ居ッタ、之ヲ海軍ノ軍人ト致シマ
セウ、父ノ遺産ナリ何ナリデ家屋ヲ市
内ニ持ッテ居ル、サウシテ是ハ十萬圓ナ
リ二十萬圓ナリノ價ノスルモノデア
ル、相當ノ火災保險ヲ掛ケテ置イテ、之
ヲ擔保ニシテ二萬圓ナリ三萬圓ナリノ
融通ヲ他カラシテ居ッタ、金ヲ借りテ居
ツタト斯ウ致シタ場合ニ、此家屋ガ全部
燒ケテシマッタ、サウシテ火災保險ハ彼
ノ時ニハ御承知ノヤウナ次第デ、僅ニ
三分トカ五分トカシカ取レナイ、隨テ
火災保險カラ得タ所ノ金ニ依テハ其人
ノ債務ヲ償フコトガ出来ナイ、而シテ
債權ト云フモノハ他ニ讓渡スルコトガ
出来ルノデアリマスカラ、貸シタ人カ
ラ直接催促シヤウト、或ハ更ニソレヲ
他ニ讓渡シテ催促シヤウト、自由ニ催
促ガ出来ルノデアリマス、コチラノ方
デハ借りテ居ル所ノ軍人ノ方デハ、火
災保險ガ取レ、バ十分ニソレヲ拂フコ
トガ出来ルノデアリマスケレドモ、家
ハ燒ケテシマッタ、火災保險ハ碌々取レ
ナイ、サウシテ借金ハ催促ヲ受クルコ
トニナレバ、是デ破産ノ申請ヲサレ
レバ破産ヲスル、是ハ誰ガ責任デア
リマセウ、破産者ニハ其責任ガアル
デアリマセウカ、一昨年ノ彼ノ銀行
ノ大破綻ヲ御覽ナサイ、海軍ノ軍人
ガ是モ父ノ遺産ナリ何ナリデ十萬圓
ナリ二十萬圓ナリノ財産ヲ、公債トシ
テナリ或ハ金トシテモ銀行ニ之ヲ預

ケテ置イタ、サウシテ此銀行ガ急ニ店
ヲ閉ヂテシマッタ、破産ヲシテシマッタ、
預ケテ置イタ金ガ取レナイ、一方ニハ
ソレヲ擔保ニシテ信用ニ依テ他ニ二萬
ナリ三萬ナリノ金ヲ借りテ居ッタ、其人
ハ遠慮ナク催促ガ出来ル、サウスルト此
處ニ支拂ノ時分ニ銀行ノ方ニ預ケタル
モノガ取レサヘスレバ、無論此債務ヲ
果タスコトガ出来ルノデアルケレドモ、
銀行ノ方ハ破産シテシマッタ取レナカッ
タラ、コチラノ借金ヲ拂フコトガ出来ナ
イ、サウスルト此人ハ破産スル、此破産
ハ一體誰ノ責任デアリマスガ、而シテ
銀行其モノハ御承知ノ通り株式會社デ
アル、例ヘバ是ハ安田ト云フモノガ事
實上一人デ此銀行ノ資本ヲ持ッテ、サウ
シテ經營ヲシテ居ルト致シマシテモ、
形式ノ上カラ株式會社ニシテ居リマス
カラ、銀行其モノガ破産シテモ其安田
ト云フ者ノ身分ニハ何ノ影響ヲ及ボサ
ナイ、人ヲ破産サセテ事實上ノ責任者
ハ自分ノ上ニ何等ノ影響ヲ蒙ラナイ、其
銀行ヲ信用シテ預ケテ置イタ所ノ此海
軍軍人ハ其影響ヲ蒙ッテ破産者トナル、
剩サヘ其地位ヲ奪ハルコトニナッタナ
ラバ、是ハ一體ドウナリマスガ、凡ソ加
害者ガ責任ガナクシテ被害者ガ責任ヲ
負フト云フ所ノ一體組織ガ何處ニア
ル、斯ウ云フ氣ノ毒ナ人ニ對シテ其地
位ヲ奪フト云フコトハ甚ダ矛盾シテ居
ルト思フノデアリマスガ、政府委員ハ
常識カラ考ヘテ破産者ハドウモイカヌ

モノデアルト仰ッシャルノハ、是ハ一體如何ナモノデアリマセウ、是ハ海軍々人ニ對シテハ勿論ノコト、將來國家ノ爲ニ國防ノ第一線ニ立タウトスル所ノ愛國ノ青年ニ對シテ、其思想ニ對シテ如何ナル影響ヲ及ボスデアリマセウ、之ヲ尙矢張妥當ナリト御考ヘニナリマスカ

○佐々木委員長 土屋サン、今貴方ガ御間ナサッタヤウナコトハ、私ハ此委員會ニ於テ何モ聽クノデアリマス、ソレデ政府委員ガ代ル度毎ニ同ジコトヲ何モ繰返スヤウナコトニナリマスレバ——ソレハ御自由カモ知レマセヌガ、殆ド目的ハ同ジデアリマセウ……

○土屋委員 海軍ノ政府委員ニハ私ハマダ何モ聽イテ居リマセヌ

○佐々木委員長 此間モ聽イタノト全く同ジデアリマス、政府委員ノ代ル毎ニ今ノヤウナコトヲ質問サレト……

○土屋委員 海軍ノ政府委員ニハ何モ船舶ノ職員ト云フコトニ付テ聞イテ居リマセヌ、海軍ノ將校ガ同時ニ此職員タル資格ヲ得ルノデアリマスカラ、是ハ非常ニ大切ナ問題デアリマス

○佐々木委員長 船舶職員トナッタ以上ハ、ドッチカラデアラウガ同ジコトデス、資格ヲ持テレバドッチカラ來テモ同ジデアリマセウ

○土屋委員 ドウカ此事ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○左近司政府委員 破産者ガ瑕モノダト云フコトヲ申上ゲタコトガ御氣ニ障ッ

タヤウデアリマスガ、決シテ惡イ意味ノ瑕モノト云フヤウナ意味デハナイノデアリマス、海軍ノ生徒ヲ狭イ範圍カラ探ルト云フ御非難ガゴザイマシタガ、是ハ私ガ狹イト申スノハ全國カラ志願致シマス者ノ中デ、何人モ皆ナ頭カラ摘ミ出シテ探ルト云フコトニスレバ、一番廣イノデアリマスガ、相當人格モ見究メナケレバナラヌ、優秀ナル成績モ見究メナケレバナラヌト云フコトノ爲ニ、段々其範圍ガ狹マツテ來ル、粒良イノヲ探ルト云フ意味カラ、ドウゾサウ御諒承ヲ願ヒマス、又其缺格者ノ中ニ破産者モ加ヘラレタト云フコトモ、矢張其意味ニ外ナラヌデアリマシテ、是ハ破産者バカリデハアリマセヌ、破産者ノ中ニハ成程自分ノ罪デナク、親ナリ親類ナリノ崇リガ今日ニ及ンダト云フヤウナ同情スベキ者モアリマセウ、又吾々ハ家庭ノ情況ナドモ大ニ重キヲ置イテ居ルノデアリマス、斯様ナ家庭ノ情況ト云フヤウナコトハ、若イ青年ノ自ラノ罪科デナイ場合ガ多イノデアリマスケレドモ、併ナガラ矢張其親兄弟ノ品行ナリ、其家風ナリト云フヤウナコトニ矢張重キヲ置ク、ソレト同ジ意味合ニ於キマシテ、破産者ト云フヤウナ人ハ必ズシモ社會的家庭的ニ満足ナル人デナイ、矢張學識人格邊リヲ洗練致シマス同ジ意味ニ於キマシテ、粒攢リニ探リタイト云フ趣意ニ基イテ、斯ウ云フ規定ガアルノデアリマ

ス、是デ御質問ニ御答致シタヤウニ思ヒマス

○土屋委員 ソレニ關聯シテ當然海軍ノ政府委員ニ御尋ヲシナケレバナラヌコトガアルノデアリマスガ、只今遞信大臣ガ御多忙ノ中ヲ御差繰リ下スッテ御出席下スッテデアリマスカラ、遞信大臣ニ是カラ御尋致シマス、其遞信大臣ニ御尋ヲ致シマス中ニハ、私ガ是カラ海軍ノ政府委員ニ御尋シャウトスル所ノ一ツノコトガ含マレルト思ヒマスカラ、ドウカ其意味デ暫ク御聽ヲ願ヒタイ、サウシテ其御答辯ハ後デ承ルコトニ致シマス——遞信大臣ニ御尋ヲ致シマスガ、一昨日此席ニ於キマシテ此改正法律案第六條ノ「左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ船舶職員タルコトヲ得ス又前條ノ體格檢査及學術試驗ヲ受クルコトヲ得ス」ト云フコトデ、色々缺格者ガ擧ゲラレテ居リマス、其中ニ破産者ニシテ復權ヲ得ザル者、即チ破産者ヲ缺格者トシテ認メテ居ル根據ハ、一體何處ニアルノデアアルカト云フコトヲ御尋致シタノデアリマスガ、政府委員ノ御答辯ハ唯原案ヲ維持スルト云フコト以外ニドウモ出ラレマセヌ、ノミナラズ此問題ハ破産者ト云フモノヲ、相當今日ノ新シイ政治思想ノ上カラ見ルト云フト、大事ナ問題デアリマスカラ、此點ニ付テ特ニ大臣ノ御出席ヲ煩シタヤウナ次第ゴザイマス、ドウカ破産者ニ對シテ復權ヲ得ザル者ヲ缺格者ト

シテ御認メニナッタ所ノ根據ヲ承リタイノデアリマス

○久原國務大臣 既ニ政府委員ヨリ御答シテ居ルコトカト思ヒマスルガ、船舶職員ハ幾多ノ人命ナリ又高價ナ財産ヲ預リマシテ、其陸上ノ監督ヲ離レマシテ遠ク海洋ヲ航行シテ居ルモノデゴザイマスルシ、最モ信用ヲ大事トシマス意味ニ於テ、今マデサウ云フコトニナツテ居リマシテ、之ニ付テ御話ノヤウナ改正ヲ加ヘルカ加ヘヌカト云フコトモ問題ニナッタノデアリマス、併シハマダモット深く審議ヲ盡シタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フコトカラシマシテ、今回ノ中ニハ這入ッテ居リマセヌ、此海事法ノ調查會ガ今度ノ豫算ニ出テ居リマシテ、ソレガ通過致シマスレバ、自然其調査會ヲ開イテ、總テノ審議ヲ盡シヤウニナツテ居リマスカラ、其場合ニ於テ色々審議ヲ盡ス中ニハ、サウ云フ問題ヲモ審議スルコトニナツテ居リマス、今急ニ其事マデニハ及ンデ居ラヌノデアリマシテ、モット審議ヲ要スル、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、今回ハ取敢ヘズ急グ問題ダケヲ出シタヤウナ次第デアリマス、是デ御諒承ヲ願ヒマス

○土屋委員 此問題ハ今マデ有ッタカラ後デ審議ヲスル考デ、取敢ヘズ以前ノ通りニ置イタト云フコトデハ、ドウモ行クマイト思フ、今日破産者ニ對シテ身分上ノ資格ヲ奪ッテ居ルト云フコトガ不都合デアル、之ヲ防ガウト云フ

コトハ、現ニ議院内ニ充滿シテ居ルノ
デアリマス、敢テ私ガ一石ヲ投ジタバ
カリデハアリマセヌ、反對黨デアル所
ノ政友會内ニ於テモ、多大ノ賛成者ガ
アリマシテ、是非共破産者ニ對シテ公
ノ資格ヲ奪フテ居ル制度ハ、根コソギ取
ツテ仕舞ヒタイト云フノデ、既ニ衆議
院議員選舉法中改正法律案ヲ初メトシ
テ、現ニ政府與黨ノ中ニ於テ提案ノ手
續ヲ執ツテ居ルト云フコトモ承知ヲ致
シテ居ル次第デアリマス、是ハ單ニ事
務上ノ問題デナク、破産者ト云フ者ハ

イ、破産者ヲドウ御認メニナルノデア
ルカ、其根本方針ヲ私ハ承リタイノデ
アリマス
○木村委員 私初メテ此席ヘ出マシタ
ノデ、前回ノコトハ更ニ分リマセヌケ
レドモ、段々土屋君ノ御質問ヲ承ツテ居
リマス、洵ニ御尤ナ御同情申上ゲナ
ケレバナラヌ點モ多々發見致スノデア
リマス、殊ニ土屋君ハ本議會ニ破産者
ニ對シテ同情スル法律案モ澤山提出シ
テ居リマスカラ、破産者ニ對スル御研
究モ非常ニ深クオキデニナルノデアリ
マス、又御議論ヲ拜聽シテ居リマス、

スナラバ、其人ハ善良ナル所ノ國民ト
同一デアル所ノ、水平線上ニ置カレル
コトガ得ラレナイト云フコトモ亦當然
ノコトデアアルト思フノデアリマス、ソ
レ故ニ私ハ必シモ絶對的ニ之ヲ法律上
カラ削除スベキモノデハナイト考ヘテ
居ルノデアリマス、併ナガラ土屋君ノ
仰ツシヤルコトモ必シモ無理ナコトデハ
アリマセヌ、併ナガラ只今ノ法案ノ上
ニ於テ、之ヲ論ズルト云フコトハ寧ロ
是ハ枝葉ノ問題デアアル、寧ロ是ハ土屋
君其人モ恐ラクサウ云フヤウナ御考デ
アラウト思フガ、破産者ニ對スル所ノ
待遇ヲ根本的ニ解決ヲシテ見タイト云
フコトガ、蓋シ土屋君ノ希望デアラウ
果シテ土屋君ガ左様ナ考ヲ抱イテ居ル
ト致シマスナラバ、是ハ此法案ニ於テ
ノミ青筋ヲ張ラシタリ赤筋ヲ張ラシテ
見タ所デ、到底解決ガ出來ヌ問題デア
ル、故ニ此質問ハ此位ノ程度ニ止メテ
置イテ、之ヲ根本的ニ解決スル爲ニ、此
委員會デナク、更ニ大ナル舞臺ニ於テ
質問應答ヲ爲シ、之ヲ根本的ニ解決ス
ル方法ヲ探ルコトガ、寧ロ土屋君ノ爲
メデモアリ、又我が國民中多數ノ破産
者ノ爲ニ盡ス所ノ最モ良イ方法デハナ
イカト思フカラ、土屋君ニモドウカ此
邊ノ程度デ破産者ニ對スル所ノ質問ヲ
打切り下サツテ、サウシテ此法案ノ進行
ニ御努メ下サラシコトヲ切ニ土屋君ニ
御願シテ已マナイ次第デアリマス、何
時迄經ツテモ斯ウ云フ質問應答デハ、決

シテ土屋君ノ諒解ヲ得ラレルヤウナ答
辯ハ得ラレナイト思ヒマス
○土屋委員 只今最モ親交アリ、先輩
デアアル木村君ノ御注意デゴザイマス
ガ、木村君ハ誤解ヲシテオキデニナル、
一昨日ノ此處ニ於ケル問答ヲ御聽取ニ
ナラナイコトガ一ツト、ソレカラ不正
ナル破産者ト云フモノハ、私ノ質問ノ
中ニハナイ、私ノ此處デ尋テ居ル所ノ
モノハ所謂「ミスフォーチュン」ノ破
産者デアアル、普通ノ破産者デアアル、破産
者ノ中ニハ色々アリマシテ、自分ノ不
都合ノ爲ニ來タシタ者モアリマス、ソ
レカラ故ラニ他ノ財産ヲ傷ケル意味ニ
於テ、所謂詐欺破産者ト云フ者ガアリ
マス、此過怠破産、或ハ詐欺破産ニ付キ
マシテハ、ソレノ刑罰ガアル、是ハ犯
罪破産デアアル、此犯罪破産ハ私ノ質問
ノ中ニハナイ、私ノ申シテ居ルハ普
通ノ破産デアアル、普通ノ破産者ヲ缺
格トシテ、此處ニ掲ゲテ居ルハドウ
云フ譯デアアルカ、斯ウ云フコトデアリ
マス、ドウカ其意味ニ於テ犯罪破産、過
怠破産、詐欺破産ト云フモノハ、私ノ質
問カラ除却サレテ居ルコトヲ木村君ハ
御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ今一ツハ
此問題ハ勿論破産者ガ身分上ノ資格ヲ
奪ハレテ居ルノヲ一掃シタイト云フコ
トガ、私ノ本來ノ願デアリマス、此見解
カラシテ先年私ハ一ツノ單行法案ヲ出
シタ「人ノ公ノ資格ニ關スル破産ノ效
果ニ關スル法律案」ト云フモノヲ五十

コトハ、現ニ議院内ニ充滿シテ居ルノ
デアリマス、敢テ私ガ一石ヲ投ジタバ
カリデハアリマセヌ、反對黨デアル所
ノ政友會内ニ於テモ、多大ノ賛成者ガ
アリマシテ、是非共破産者ニ對シテ公
ノ資格ヲ奪フテ居ル制度ハ、根コソギ取
ツテ仕舞ヒタイト云フノデ、既ニ衆議
院議員選舉法中改正法律案ヲ初メトシ
テ、現ニ政府與黨ノ中ニ於テ提案ノ手
續ヲ執ツテ居ルト云フコトモ承知ヲ致
シテ居ル次第デアリマス、是ハ單ニ事
務上ノ問題デナク、破産者ト云フ者ハ
財産上ノ失格者、或ハ經濟生活途上ノ
負傷者、道德ニ反セズ又犯罪者デモナ
イ所ノ氣ノ毒ナル破産者ヲ、ドウ法律
ガ取扱フカ、ドウ政治上取扱フカト云
フ根本ノ問題ニ係ツテ居ル、此點ニ付テ
政府ハドウ破産者ト云フモノヲ見テ居
ルカ、若シ破産者ヲ羅馬法時代カラ取ッ
テ居ッタ懲戒主義ニ依ツテ、ソレヲ依然
トシテ踏襲シテ、破産者ヲ今日ノ社會
ノ水平線以下ニ突落シテ構ハヌト云フ
コトデアレバ、此箇條ヲ存シテ置イテ
モ宜シイガ、サウデナク破産者ト云フ
者ハ今日ノ經濟生活ノ上ニ於テハ避ク
ベカラザル現象デアリ、又最モ氣ノ毒
ナル負傷者デアアル、之ヲ救ヒ上ゲテ其
病氣ヲ癒シテヤル、働クコトガ出來ル
ヤウニシテヤルコトハ、普通選舉ヲ布
イタ現代ニ於テ、當然シナケレバナラ
ヌコトデアアルト思フノデアリマス、是
ハ調査シテドウスルト云フコトデハナ

マセウ、併ナガラ破産者ノ中ニハ寧ロ
自ラ求メテ、故意ニ依テ破産シタ人モ
亦大多數ヲ占メテ居ルデハナイカト思
フ、果シテ然リトスレバ、其自己ノ行爲
ノ不良ニ依テ破産宣告ヲ受ケタ、斯ウ
云フコトニナリマスレバ、罪ハ何人ニ
在ルカト言ヘバ、破産者其人ニ在ルト
言ハナケレバナラヌ、罪ガ破産者其人
ニ在リト致シマスレバ、其人ハ家庭的
ニモ社會的ニモ信用ヲ失墜スルト云フ
コトモ、家庭ノ圓滿ヲ缺キ信用ヲ受ケ
ナイヤウニナルコトハ當然ノ歸結デア
ルト思フ、左様ナコトデアルト致シマ

スナラバ、其人ハ善良ナル所ノ國民ト
同一デアル所ノ、水平線上ニ置カレル
コトガ得ラレナイト云フコトモ亦當然
ノコトデアアルト思フノデアリマス、ソ
レ故ニ私ハ必シモ絶對的ニ之ヲ法律上
カラ削除スベキモノデハナイト考ヘテ
居ルノデアリマス、併ナガラ土屋君ノ
仰ツシヤルコトモ必シモ無理ナコトデハ
アリマセヌ、併ナガラ只今ノ法案ノ上
ニ於テ、之ヲ論ズルト云フコトハ寧ロ
是ハ枝葉ノ問題デアアル、寧ロ是ハ土屋
君其人モ恐ラクサウ云フヤウナ御考デ
アラウト思フガ、破産者ニ對スル所ノ
待遇ヲ根本的ニ解決ヲシテ見タイト云
フコトガ、蓋シ土屋君ノ希望デアラウ
果シテ土屋君ガ左様ナ考ヲ抱イテ居ル
ト致シマスナラバ、是ハ此法案ニ於テ
ノミ青筋ヲ張ラシタリ赤筋ヲ張ラシテ
見タ所デ、到底解決ガ出來ヌ問題デア
ル、故ニ此質問ハ此位ノ程度ニ止メテ
置イテ、之ヲ根本的ニ解決スル爲ニ、此
委員會デナク、更ニ大ナル舞臺ニ於テ
質問應答ヲ爲シ、之ヲ根本的ニ解決ス
ル方法ヲ探ルコトガ、寧ロ土屋君ノ爲
メデモアリ、又我が國民中多數ノ破産
者ノ爲ニ盡ス所ノ最モ良イ方法デハナ
イカト思フカラ、土屋君ニモドウカ此
邊ノ程度デ破産者ニ對スル所ノ質問ヲ
打切り下サツテ、サウシテ此法案ノ進行
ニ御努メ下サラシコトヲ切ニ土屋君ニ
御願シテ已マナイ次第デアリマス、何
時迄經ツテモ斯ウ云フ質問應答デハ、決

シテ土屋君ノ諒解ヲ得ラレルヤウナ答
辯ハ得ラレナイト思ヒマス
○土屋委員 只今最モ親交アリ、先輩
デアアル木村君ノ御注意デゴザイマス
ガ、木村君ハ誤解ヲシテオキデニナル、
一昨日ノ此處ニ於ケル問答ヲ御聽取ニ
ナラナイコトガ一ツト、ソレカラ不正
ナル破産者ト云フモノハ、私ノ質問ノ
中ニハナイ、私ノ此處デ尋テ居ル所ノ
モノハ所謂「ミスフォーチュン」ノ破
産者デアアル、普通ノ破産者デアアル、破産
者ノ中ニハ色々アリマシテ、自分ノ不
都合ノ爲ニ來タシタ者モアリマス、ソ
レカラ故ラニ他ノ財産ヲ傷ケル意味ニ
於テ、所謂詐欺破産者ト云フ者ガアリ
マス、此過怠破産、或ハ詐欺破産ニ付キ
マシテハ、ソレノ刑罰ガアル、是ハ犯
罪破産デアアル、此犯罪破産ハ私ノ質問
ノ中ニハナイ、私ノ申シテ居ルハ普
通ノ破産デアアル、普通ノ破産者ヲ缺
格トシテ、此處ニ掲ゲテ居ルハドウ
云フ譯デアアルカ、斯ウ云フコトデアリ
マス、ドウカ其意味ニ於テ犯罪破産、過
怠破産、詐欺破産ト云フモノハ、私ノ質
問カラ除却サレテ居ルコトヲ木村君ハ
御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ今一ツハ
此問題ハ勿論破産者ガ身分上ノ資格ヲ
奪ハレテ居ルノヲ一掃シタイト云フコ
トガ、私ノ本來ノ願デアリマス、此見解
カラシテ先年私ハ一ツノ單行法案ヲ出
シタ「人ノ公ノ資格ニ關スル破産ノ效
果ニ關スル法律案」ト云フモノヲ五十

二議會ニ出シマシテ、此一ツノ法律ニ依テ色々ナ特別法、或ハ色々ナ命令ニ規定サレテ居ル所ノ破産者ニ對スル身分上ノ資格ニ關スル規定ヲ、全部無効ニシヤウト云フ考デ出シタノデアリマス、併ナガラ段々調ベテ見マスト云フト、左様ニ行カナイ場合モアラウト云フノデ、先ヅ特別法、或ハ特別ノ命令一ツ一ツヲ片付ケテ行カウト云フ考デ、今回ハ澤山ナ改正法律案ヲ出シタヤウナ次第デアリマス、而シテ此法案ハ同僚ノ漢那君ガ一昨々日此處デ質問致シマシタ如ク大切ナ案件デアル、將來ノ日本ト云フモノハ海ニ伸ビルヨリ外ニ仕方ガナイ、今日世界ニ於テ國ヲ成シテ居ルモノハ陸地ダケデアアル、國ハ陸デアアル、所ガ海ト陸ト云フモノハ事實違ツタ所ハナイ、唯上ニ水ガ冠サツテ居ルト云フダケデ、其中ニハ動物モアレバ植物モアル、或ハ金銀銅鐵モアル、之ヲ開拓シタ者ガ將來世界ヲ支配スルデアラウト斯ウ考ヘテ居ル、漢那君モ恐ラクサウ云フ考デアラウト思フ、其日本ガ是カラ海ニ伸ビヤウトスルニ、此船舶職員法ト云フモノハ其海ニ伸ビントスル所ノ人ノ身分ニ關スル規定デアリマルカラ、非常ニ重大ナ事デアリマス、ノミナラズ、是ハ海軍ノ將校ヲ矢張之ニ採用スルト云フ關係カラ、一方又船舶職員ト云フ者ハ有事ノ日ニハ直ニ海軍

ノ補助機關トナツテ矢張國防ノ第一線或ハ第二線ニ立ツノデアアル、斯ウ云フ關係カラ此問題ハ非常ニ吾々ハ重視シテ居ルノデアリマス、今日漢那君ハ病ヲ冒シテモ此處ニ出テ此問題ダケハ我國ノ爲ニ、我ガ海外發展ノ爲ニ、我ガ民族ノ海ニ對スル發展ノ爲ニ是非トモ十分ニ質問應答ヲ重ネテ、黨派ヲ超越シテ船員ノ身分ト云フコトニ付テ、キッパリ決メテ置キタイト云フノデ今日モ出テ來タイト云フ考デアリマシタケレドモ、奈何セン病ノ爲ニ出テ來ルコトガ出來ナイ、ドウカ一ツ君ガ代ッテ此事ヲ尙重ネテ政府當局トモ質問應答ヲ重ネテ真相ヲ突止メテ、適當ニ之ヲ改正スル、或ハシナイト云フコトノ基礎ヲ造ツテ貫ヒタイト云フコトヲ、態々私ニ申シテ參ッタヤウナ次第デアリマスカラ、ドウカ是ハ單ニ船乗ノ問題デアルト云フヤウニ御考ニナラズ、日本ノ將來ノ爲ニ——是カラ海ニ伸ビヤウトスル我が日本民族ノ爲ニ、重大ナ問題デアルト云フ關係カラシテ、ドウカ木村君モ暫ク我慢シテ戴キタイ、此問題ハ私共決シテ黨派關係ト云フヤウナモノデナイ、破産者ノ人ノ公ノ資格ニ關スル問題ハ、前申シマシタ通り反對黨タル私ノ案ニ對シテ、與黨タル政友會ノ諸君ノ中ニモ多大ノ共鳴者ガアツテ、是非トモアレハ此議會ヲ通シタイト云フコト

ヲ申シテ居ルノデアリマスカラ、折角海ニ向ッテ船底一枚——モウ其處ハ死生ノ境ニアル其處ニ奮闘スル我が同胞ノ爲ニ、ドウカモウ少シ審議ヲ進メラレル餘裕ヲ與ヘテ戴キタイノデゴザイマス、其意味ニ於キマシテ、私ハ遞信大臣ニ重ネテ質問致スノデアリマス、——只今ノ御答辯ノ中ニモ亦、一昨日政府委員ノ御答辯ノ中ニモ、此船舶ノ職員ト云フヤウナ者ハ他人ノ人命、即チ旅客或ハ貨物ヲ管理スル所ノ重要ナ職務ニアアルノデアリマスカラ、ドウシテモ信用ノ有ル者デナケレバイカヌト云フヤウナ意味ニ拜聽致シタノデアリマスケレドモ、一體ドウシテ破産者ト云フ者ガ、サウ信用ガナイト云フコトニナルノデアリマセウカ、之ヲ一ツ承リタイノデアリマス

○久原國務大臣 深クハ私承リマセヌケレドモ、大體御趣意ハ分ッタヤウニ思ヒマスルガ、大變ニ御尤モナコトデ、破産者ノ質ノ惡イノハ別トシテ、不幸ニ依テ起ッタ者ニ付テハ何モサウ窮屈ニシナイデモ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御趣意ノヤウニ聽取リマシタ、御話ノ通りニ外ニ海ノ上ニ向ッテ伸ビネバナラヌ場合ニ、窮屈デ必要ノナイ制限ヲ設クルヤウナコトハ甚ダ不本意ナコトデアリマス、ソレデ唯從來ノ潔癖のナ行届カヌ氣持ニ制セラレテ、其目的ガ遂格拉レヌヤウナコトハ私共モ矢張不本意ニ思フ次第デアリマス、ソレデ今ノ御話ノ御趣意ニハ私個人トシテハ賛成デゴザイマス、唯併シ此法律ノ上ニ其形ヲ整ヘルト云フコトニ付キマシテハ輕卒ナコトガアツテモナリマセヌシ、又總テノ法規ノ上ニモ皆相當ナ聯絡ガ取レンケレバナテヌコトデモアリマスルカラ、是ハ如何デゴザイマセウカ、其御趣意ヲ能ク承ッテ、又私共モ御尤ト思ウテ聽イテ居ルコトデゴザイマスカラ、今私共ノ關係ニ於キマスル問題ニ付テハ、成ベク海事法ノ調查會ノ研究ニ殘シテ戴キマシテ、今ノ問題ハ此邊ニ止メテ置イテ戴イタラ如何デゴザイマセウ、是ガ私ノ希望デアリマス、又ソレガ此事ヲ進メル上ニモ適當ナコトデハナイカト思ヒマス、簡單ニ色々ナ道行キヲ省キマシテ、其結論ヲ申上ゲテ御考慮ヲ煩ハシマス

○土屋委員 只今大臣カラ非常ニ御懇切ナ御言葉ヲ戴キマシテ、趣旨ヲ云々ト云フコトデアリマスカラ、私ハ一ツモウ少シ申上ゲテ見タイト思ヒマス、ドウカスルト——コンナコトヲ申シテハ甚ダ失禮デスケレドモ、私共反對黨ノ立場ニ居ッテ、遞信大臣ト見ルト何カ喰ッテ掛カルモノ、如キ御考デアアルカモ知レマセヌガ、私ハ遞信大臣ガ過去ニ於テ我ガ産業發達ノ上ニドレダケノ

貢獻ヲセラレタカ、又今日マデノ御生
活ト云フコトニ付テハ常ニ敬意ヲ表シ
テ居ルモノデアル、先日堀切君ハ色々
遞信大臣ノ人格ニ對シテ御稱讃ノ言葉
ヲ發セラレタ、私ノ承知シテ居ル範圍
ニ於テモ、我が醫學研究方面ニ於テ、例
ヘバ慶應大學ノ最近ノ病理教室ノ建設
ニ多大ノ寄附ヲセラレタヤウナコトハ
澤山、例ノアルコトデアリマス、而シテ
今日マデ實業界ニ居ル間ニ多クノ從業
員ヲ使ハレテ隨分下々ノコトニ付テハ
御經驗ガアリ、又御理解ガアリ、サウシ
テ苦勞人デアル、斯ウ私ハ考ヘルノデ
ス、ドウカ其意味ニ於キマシテ、大臣モ
御忙シイデアリマセウケレドモ、モウ
少シ私ノ申上ゲル所ヲ御聽キヲ願ヒタ
イノデアリマス

○佐々木委員長 土屋君、約ドノ位デ
スカ、御承知ノ通り時間モ切迫シテ居
リマスカラ……

○土屋委員 三十分位……

○佐々木委員長 ソレデハ洵ニ困リマ
ス

○土屋委員 私共ガ最モ重キヲ置イテ
居ルノハ、今丁度海軍政府委員ニモ聞
イテ見タノデアリマスケレドモ、破産
者程不幸ナ地位ニ置カレテ居ル者ハナ
イ、是ハ大臣ハ私ガ申シタラ直グ御分
リデアリマセウ、茲ニ船員ガアツテ、自
分ノ財産ヲ金ニ替ヘテ銀行ニ預ケテ置

イタ所ガ、其銀行ガ破産シタ、其金ヲ引
出スコトガ出來ナイ、一方ニハ他ニソ
レニ近イ所ノ債務ヲ持ッテ居ル、若シ銀
行ガ破産シナケレバ、此船員ハ支拂ニ
差支ナイノデアリマスケレドモ、銀行
ガ破産ヲシタ爲ニ金ヲ取ルコトガ出來
ナイ、一方債權者カラハ請求ヲ受ケ、強
制執行ヲ受ケ遂ニ破産ノ申請ヲ受ケテ
破産スルト云フヤウナコトニナル、所
ガ銀行其モノハ法人デアリマスカラ、
人ヲ破産サシテモ自分ハ何等責任ハナ
イ、銀行經營者ノ身分ニハ何等ノ影響
ヲ及ボサナイ、所ガ破産ヲシタ其人ハ
銀行ノ爲ニ破産ヲサセラレタ其上ニ、
船員タル資格マデモ奪ハレテ職ヲ失フ
ト云フコトハ、是ハ非常ニ矛盾シタコ
トデアルト思フ、加害者ガ何ノ責任ナ
クシテ、被害者ガ其責ヲ負ヒ、其責ヲ負
フバカリデナク其身分上ノ資格マデモ
奪ハレル、其職ヲ奪ハレテ生活ニモ困
ル、一昨日政府委員ハ破産者ハ海ノ生活
ヲシナイデモ、陸ニ上ッタラドウカナ
デアラウト言ハレマシタケレドモ、長
ク航海ノ業バカリニ携ッテ居タ者ガ、陸
ニ上ッテ職ヲ得ラル、カ、破産者トシ
テ、船員タル資格マデ奪ハレタ者ガ陸
ニ上ッタ所ガ、ドウシテ職ヲ得ラレル、
今日失業問題ト云フモノハ、重大ナル
社會問題トナッテ居ルノデアアル、之ニ對
シテ政府ハ破産者デモ金ヲ返セバ復權

スルト言フ、誰ガ返スカト言ヘバ親類
カ誰カ返スダラウ、親類ニモ返ス者ガ
ナイト云フ場合ハドウスルカ——恰度
破産者ニ對シテ斯ウ云フ資格ヲ奪ッテ
居ルト云フコトハ、手足ヲ縛ッテ働ケト
云フノト同ジデアアル、斯ウ云フ事理明
白ナルコトハ、敢テ是カラ機關ヲ設ケ
テ審議スルマデモナク、又遞信大臣個
人的ニハ賛成デアルト仰ッシャル以上
ハ、ドウカ斯ウ云フ無情冷酷ナル法律
ハ、一日モ速ニ削除シテ戴キタイ、此點
ニ付テモウ少シキツバリシタ御答辯ガ
願ハレマスマイカ

○久原國務大臣 是ダケナラバ私ハ全
然同意デゴザイマスケレドモ、法律關
係ハ色々聯絡モアリマスシ、結局是ハ
御話ノ通り精神上ノ——何ト申シマス
カ、從來ノモノヲ、行届イテ居ナイ時ニ
出來タ總テノ法律上ノ精神ニ、色々矛
盾ガ起ツテモ體ヲ成サヌデアラウカラ
シテ、要スルニ總テノ聯絡ヲ取ツテ、手
落チノナイヤウニスルコトガ必要デア
ラウト思ヒマス、隨テ實行ハ餘リニ御
急ギニナラヌ方ガ却テ全體ノ爲ニ過チ
ナク進ム上ニ、都合ガ好クハナイカト
思ヒマスノデ、御趣意ノ御主張ハ此程
度ニ御止メ下サツテ、實行ハ時日ヲ御與
ヘ下サル方ガ宜クハナイカト云フ考ヲ
私ハ持ッテ居リマスカラ、一寸申上ゲテ
置キマス

〔此時發言スル者アリ 議場騷
然〕

○佐々木委員長 ドウゾ御靜ニ願ヒ
マス

〔議場ノ整理ヲ望ミマス〕議事
ノ進行ヲ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○佐々木委員長 土屋君、木村君カラ
質問終了打切ノ動議ガ出テ居リマス……

○土屋委員 重要ナル事ニ關シテ質問
ヲシテ居ル間ニ、政府委員ガ、脇カラ飛
ンデ來テ邪魔ヲシテ、ソレデ後ドウナ
ル委員長ハ質問打切ノ動議ガ出テ居ル
ナド、言ッテ、甚ダ……

○木村委員 私質問打切ノ動議ヲ提出
シタ理由ヲ簡單ニ申述べマス、先程來
委員室ノ狀況ヲ見テ居リマスルノニ、
土屋君ガ破産者ニ對スル同情アル質問
デ終始シテ居ルノデアリマス、他ノ委
員諸君ハ一言モ發シテ居リマセヌ、而
シテ土屋君ノ御質問ヲ承ッテ居リマス
ルノニ、長イノハ非常ニ長イノデアリ
マスケレドモ、繰返スニ過ギナイト私
ハ思フノデアリマス、而シテ答辯スル
方モ殆ド千遍一律ノヤウナ答辯ニ終ッ
テ居ルト私ハ思フ、故ニ此質問ハ幾時
間ヲ要シマシテモ遂ニ結論ニ達スルコ
トガ出來ナイ、結論ニ達スルト云フコ
トニスルナラバ、土屋君ノ希望ノ通り

ノ結論ニ達スルコト云フナラバ、是ハ削

除シテシマヘ、即チ第六條ノ第六項ヲ

「賛成者起立」

削除シテシマヘ、斯ウ云フコトニナリ

○佐々木委員長 多數、質問打切ニナ

マスレバ、結論ニ到達スルノデアリマ

リマシタ

セウ、併ナガラソレハ討論ニ這入ラナ

○小山委員 今廣岡政務次官ノ處置ヲ

ケレバ決シテ削除スルコトガ出來ナイ

トシテ重要ナ質問ヲシテ居ル際ニ馬鹿

ト云フコトニナル、質問デハ削除スル

トカ何トカ云フ

コトガ出來ヌト云フコトニナル、ソレ

○佐々木委員長 馬鹿ト云フコトハ聞

ガ例ヘバ發案者ガドウ云フヤウナコト

キマセヌ

ヲ言フカ知リマセヌケレドモ、之ヲ決

○赤尾委員 本日ハ十二時ニ各代議士

スルト云フコトハ委員ノ權限ニアルノ

會ヲ開クコトニナツテ居リマスカラ、本

デアリマス、即チ多數少數ニ依ツテ決ス

日ハ此程度デ散會セラレタイ

ルコトニ依テ是ハ決マルノデアリマ

○土屋委員 議事進行ニ付キ發言ガア

ス、是ガ故ニ討論ニ入ラザル以上ハ、削

リマス、先刻私ガ質問ノ間ニ於テ廣岡

除スルコトガ出來ナイト云フコトニ到

政府委員ガ、政府委員ノ議席ヲ離レテ

達スルノデアリマスカラ、同ジコトヲ

本員ノ右側ニ迫リ、巨大ナル體軀ヲ以

百萬遍繰返シタツテ矢張り同ジコトデ、

テ蠻聲ヲ發シテ馬鹿ト云フコトヲ言ハ

歸結スルコトヲ知ラズ、斯ウ云フコト

レタ、是ハ甚ダ政府委員トシテ、穩カデ

ニナリマスカラシテ、此場合ニ質問

ナイト考ヘルノデアリマス、本員ハ初

ヲ打切りマシテ、之ヲ決スルト云フコ

カラ此委員會ニ臨ミマシテ、努メテ議

トガ最モ適當ナル方法デアルト考ヘマ

事ノ滑カナル進行ヲ欲シ、一語一語言

スルカラ、此場合ニ終結ノ動議ヲ提出

葉ヲ叮嚀ニシテ政府委員ノ答辯ヲ求メ

致シマス

テ居ッタノデアリマス、然ルニ其間ニ於

「賛成」賛成」委員長採決ヲ願

テ政府委員タル所ノ廣岡君ガ、議席ヲ

ヒマス」ト呼フ者アリ」

離レテ本員ノ發言ノ間ニ傍ニ來テ、

○土屋委員 先刻カラ發言中デアリマ

之ヲ妨害スルト云フコトハ、許スベカ

ス

ラザルコトデアルト考ヘルノデアリマ

○佐々木委員長 質問打切ノ動議ニハ

ス、委員長ハ此廣岡政府委員ノ行動ニ

成規ノ賛成ガアリマスカラ採決致シマ

對シテ、如何ナル處置ヲ御執リニナル

セウ、質問打切ノ動議ニ賛成ノ方ノ起

立ヲ乞ヒマス

ノデアルカ

○佐々木委員長 御答致シマス、廣岡

○佐々木委員長 多數デアリマス、原

案ハ可決ニナリマシタ、ソレデハ午後

一時ヨリ無線電信法中改正法律案ノ委

員會ヲ開會致シマス、是デ休憩致シマ

ス

午後零時三十三分休憩

午後四時十分開議

○佐々木委員長 休憩前ニ引續イテ會

議ヲ開キマス、無線電信法中改正法律

案ノ質疑ニ移リマス

○青山委員 本案ノ説明ハ先達伺ヒマ

シタガ、改正ノ理由ハ極ク簡單ナモノ

デアツテ、私共トシテハ別ニ質問ヲ申上

ゲルヤウナコトモナイノデゴザイマス

ガ、此案モ貴族院方面デ隨分急イデ居

ルヤウナ風デアリマスカラ、質問ガ別

段他ノ御方々ニオアリナサラヌヤウナ

ラ、質問ヲ打切りマシテ、本日決定致

シタラ如何デゴザイマセウカ

「賛成」賛成」ノ呼フ者アリ」

○佐々木委員長 御諮リ致シマスガ、

如何デゴザイマセウ

「宜イデセウ」ト呼フ者アリ」

○佐々木委員長 ソレデハ是デ質問ハ

終了致シタコトニ致シマス——更ニ討

議ニ入りマスガ、如何デアリマセウ

「原案賛成」ト呼フ者アリ」

○青山委員 本案ノ改正ハ至極簡單デ

「賛成者起立」

モアリ、又理由トシテモ御尤デアラウト
思ヒマスカラ、私共原案ニ賛成致シ
マス

○佐々木委員長 如何デアリマセウ

〔「原案異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○佐々木委員長 ソレデハ満場一致、
本案ハ原案ノ通り可決確定致シマシ
タ、洵ニ御苦勞様デゴザイマシタ、是デ
散會致シマス

午後四時十三分散會

昭和四年三月十三日印刷

昭和四年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社